

## 平成 25 年度国有林モニター会議（現地見学）の開催

平成 25 年 8 月 1 日、岐阜県高山市荘川町一惣造林組合林外（飛騨森林管理署管内）において、国有林モニター会議（現地見学）が開催されました。

現地見学には、全 36 名の国有林モニターさんのうち管内一円からお集まりいただいた 16 名の皆様と、当局から森林整備部長、飛騨森林管理署長等が出席しました。

### 【当日の概要】



ハーベスタによる造材作業見学

午前の現地見学は、伊藤荘川首席森林官から説明の下、岐阜県高山市荘川町にて「高山市一色・山中地域森林整備推進協定」により民国連携が図られている森林施業団地内の一惣造林組合林（飛騨森林管理署管内）の伐採現場においてハーベスタによる集・造材作業を見学した後、スキー場駐車場跡地を活用した中間土場において流通コスト縮減について見学しました。



木造校舎の見学

午後の現地見学では、高山市立東小学校にて高山市教育委員会事務局石原さんから高山市の学校施設木造・木質化への取り組みについて概要の説明を受けた後、小谷教頭先生の案内の下、木造校舎内を見学しました。

その後、「飛騨の家具館」にて飛騨産業㈱の中井生産本部長と岩本ショップマネージャーから節を生かした家具づくりなど現在の多様な家具づくりの展開について説明を受けた後、国産材が活用された家具等が展示されている家具館内を見学しました。



家具展示の館内見学

今回の現地見学では、国有林モニターの皆様から「ハーベスタ作業機械の稼働作業を見学できたことが印象深い」「民国連携の取組は、効率や連携による交流などの点で素晴らしい試みだと思います」「鉄筋コンクリートと違い、温かみを感じ、こんな学校で勉強できたらよいと思いました」「小学校の木造化は、子ども達に愛着を生むような気がします」「家具に節がありましたが、大変気に入りました」「良い家具は心を豊かにしてくれます」「川上の作業から川下の利用まで木材の利用について良く分かりました」「木が手元に届くには本当に多くの手間が掛け

られていると感じます」等といった感想が出されました。

中部森林管理局では、今回の国有林モニター会議（現地見学）でいただいた貴重なご意見を、これからの国有林野の管理・経営に活かしていきたいと考えております。